

知恵と心と勇気を…

ファンタスティックな夢をちりばめた豪華なミュージカル巨編!!



THE WIZ

ワイズ



製作費70億円!
「オズの魔法使い」のミュージカル映画化

ダイアナ・ロス

マイケル・ジャクソン ◆ ニブジー・ラッセル
テット・ロス ◆ リナ・ホーン
リチャード・ブライアー

監督 シドニー・ルメット

製作 ロフ・コーエン ◆ 脚色 ジョエル・シュメツチャー
原作 L・フランク・バウム
音楽作詞・作曲 チャーリース・モルズ (サントラ盤 MCALコード)
撮影 オズワルト・モリス ◆ 特撮 アルバート・ウィットロック
美術 コスチューム トニー・ウォルトン
音楽監督 クインシー・ジョーンズ

● カラー作品 ● ユニバーサル映画  CIC 配給

THE WIZ

ウイズ

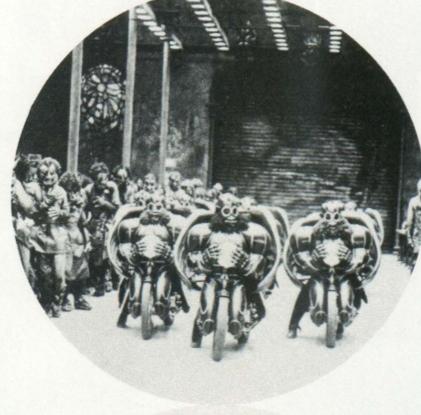
●カラー作品●ユニヴァーサル映画 ●CIC配給

<スタッフ>

監督.....シドニー・ルメット
 製作.....ロブ・コーエン
 作詞・作曲.....チャーリー・スモールズ
 撮影.....オズワルド・モリス
 音楽監督.....クインシー・ジョーンズ
 特撮.....アルバート・ウィットロック

<キャスト>

ドロシー.....ダイアナ・ロス
 カカシ.....マイケル・ジャクソン
 プリキ人間.....ニブシー・ラッセル
 ライオン.....テッド・ロス
 ウイズ.....リチャード・プライアー
 善い魔女.....リナ・ホーン



♣へ虹の彼方に〜を知っていますか……

童巻にさらわれ、不思議な魔法の国へさまよいこんだ少女ドロシーは、家に帰る道を探して、魔法使いオズを訪ね求める。道すれは愛犬トト。そして魔法の国で出会った三人の友だち——脳みそのないカカシ、ハートのないプリキ人間、そして、勇気のないライオン。それぞれ自分にはないものを、オズの魔法使いにさすくてもらうつもりだったのに、旅の終りに彼らは気づく自分たちの求めるものが、すべて最初から自分自身のなかにあったことを……

子供の夢そのままの、ファンタジーに満ち満ちたこの物語は、1939年「オズの魔法使い」として映画化され、当時16才でドロシーを演じたジュディ・ガーランドはアカデミー特別賞を受賞。彼女が歌った「オーバー・ザ・レインボウ」は、生涯、彼女のテーマソングになると共に、ポピュラー・ソングのクラシック・ナンバーとして、今日に歌いつがれているのです。

♣ミュージカル「ウイズ」ができるまで……

その映画化から30余年を経た1975年、この物語はロックのビートにのって、装いも新たにブロードウェイの舞台にミュージカルとして登場しました。タイトルは「ザ・ウイズ」(魔法使い「The Wizard」を縮めたもの)。初日の幕開きと同時に、爆発的な人気に湧いたこのミュージカルは、ブロードウェイのロングラン記録を次々に更新し、現在なお続演中。

その待望の映画化がここに登場する華麗なミュージカル・ファンタジー「ウイズ」です。おなじみの主人公たちがくりひろげる不思議な旅の楽しさに加えて、今回はそれをつつみこんでいるパツケージの豪華さ、創意の素晴らしさが何といても最大級の話題。目と耳から、これほどぜいたくに観る者を楽しませてくれるミュージカル映画は、最近、他に例は

ありません。

♣巨匠がミュージカルに初挑戦!

演出を引受けた名匠シドニー・ルメット(「オリエンタル急行殺人事件」(ネットワーク))は、今回の映画化にユニークな意味をもたせる第一歩として、まず「今世紀初頭、カンサス州の田舎町の出来事」という従来の設定を、大胆にも「現代の大都会ニューヨーク」に移しかえました。それだけではありません。ルメット監督の発想に基づいて、このファンタスティックな映画の撮影は、大半がニューヨークの市内ロケで行われました。

♣製作費70億円!

ファンタスティックなセットの数々!
 すなわち、ニューヨークの名所である世界貿易センターのツインビル、野球でおなじみのシエラスタジアムやランキー・スタジアム、あるいは遊園地コニー・アイランドなどが、息をのむ舞台装置と特撮により、魔法の国の一部となってスクリーンに登場します。それはまさに映画の技術が魔法の国を創りあげたといえる見事な効果であり事実、今までニューヨークでつくられた映画で、これほど製作費のかかった作品はないといわれています。美術デザイナーはトニー・ウオルトン(「オリエンタル急行殺人事件」)。彼はメーキャップデザイナーのスタン・ウインストンと共に、この映画を華麗な目の饗宴に仕立てあげました。

♣「トニー賞」を受賞!

一方、サウンド面では、ブロードウェイの「ウイズ」のためにチャリー・スモールズが作詞作曲し、75年度トニー賞に輝いたミュージカル「スコアを中心として、それに更に今回この映画のために作曲されたいくつかの曲が加えられているのです。

♣音楽はジャズ界の鬼才、クインシー・ジョーンズ!

音楽監督はジャズ界の鬼才、クインシー・ジョーンズ。300名編成のオーケストラ、3名の指揮者、9名のオーケストラ編曲者、105名のシンガー、20名のダンサーという大部隊を統率して、サウンド・トラックに美しく、迫力ある音楽を創造しました。

♣実力・人気・歌唱力No.1

ダイアナ・ロス主演!
 ルメット監督はさらに、注目されていた主人公道ドロシー役に今日の女性シンガーNo.1ダイアナ・ロス(「ヒリー・ホリデー物語」)を選び、世間をアッといわせました。その期待に応えて、ダイアナは彼女のダイナミックな才能を力いっぱいスクリーンにぶつけ、歌い、踊り、泣き、笑います。彼女の存在があつて、この作品のスタイルは一層大きくなったといえましょう。

♣カカシ・プリキ人間・ライオン……

心暖まる仲間達!
 彼女を囲む共演者は、カカシにも「ジャクソン・ファイブ」のリード・シンガー、マイケル・ジャクソン。プリキ人間に、タップ・ダンサーでT.V.スターのニブシー・ラッセル。ライオンにはブロードウェイで同じ役を演じてトニー賞に輝いたテッド・ロスが扮し、その他、名シンガーのリナ・ホーンとメーベル・キングがそれぞれ、よい魔女と悪い魔女役で絶品ののどを聞かせてくれます。魔法使いウイズとして登場するのは、名コメディアンとして人気のリチャード・プライアー。

♣圧倒的ノダンス・シーン……

群舞を中心としたダンス場面の振付けはブロードウェイに名を轟かせるルイ・ジョンソンが指揮をとり、この作品のスペクタキュラーなハイライト・シーンになっているのです。

10月6日(星)ロードショー!

特別鑑賞券1,000円
 絶賛発売中!
 (一般¥1,300の処)
 (学生¥1,100)

シネラマ

銀座 一丁目 **テアトル東京**
 (562) 5301

連日 11:00 1:25 4:05 6:45